

2025.9.1.



NPOフォーラム・だより No.118

NPO法人安房文化遺産フォーラム（共同代表：愛沢伸雄、池田恵美子）

〒294-0045 千葉県館山市北条 1721-1 TEL&FAX：0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <https://awa-ecom.jp/bunka-isan/>

会員・寄付募集中！年会費＝正会員 A:10,000 円（総会議決権あり）・賛助会員 B:2,000 円・法人 10,000 円
（ゆうちょ銀行口座：00260-1-97307 名義 NPO 法人安房文化遺産フォーラム）

戦後 80 年企画

◆ 米占領軍の館山上陸と「直接軍政」

参加費無料／資料代 500 円

9 月 14 日（日）13:30～16:00 館山市コミュニティセンター第一集会室

日本では 8 月 15 日が終戦記念日ですが、国際的には降伏文書調印式のあった 9 月 2 日を終戦の日とされています。

館山では 8 月 30 日に占領軍先遣隊が上陸し、9 月 3 日には正式な本隊（第 112 騎兵連隊戦闘団）が上陸しました。そして、日英語版の「米國軍ニヨル館山湾地区ノ占領 / Occupation of the Tateyama-wan Area by United States Forces.」という資料から、館山に軍政参謀課が設置され、本土で唯一の「直接軍政」が敷かれることが明らかになりました。館山の終戦連絡委員会はこれに驚き、報告を受けた外務省はすぐ GHQ に撤回を要求しました。結局、館山の軍政は「4 日間」の後に変更されていったと言われます。

占領軍上陸の様子を撮影した動画を上映するとともに、米国テキサス軍事博物館から入手した写真や資料等を紹介し、調査報告をおこないます。

（上の写真は米軍先遣隊と日本外務省との交渉。下は館山航空隊にあった訓練用特攻機「桜花」を検分する米占領軍）



◆ 平和のための戦争展ちば 9 月 4 日（木）～ 9 月 7 日（火）船橋市民ギャラリー（船橋スクエアビル 3F）

「館山まるごと博物館」パネルも展示します。プレ企画の映画上映会もあります。

* プレイベント 9 月 1 日（月）13:30～15:30 映画『医の倫理と戦争』 参加費無料

731 部隊や慰安婦問題は現代にいたる医学界の問題にメスを入れた話題作。当 NPO も製作に協力し、戦後にキノコ研究者（元 731 部隊員）が住んでいた赤山地下壕跡を案内しています。

◆ 安房反核フェスティバル 9 月 27 日（土）9:00～16:00 館山市コミュニティセンター 参加費無料

9:00/13:30 原爆記録映画 12:00 すいとん食堂 13:00 小学生報告「僕が見てきた被爆地長崎」

展示や歌、読み語り、人形劇、紙芝居などもりだくさん。安房文化遺産フォーラムは後援しています。

◆ 第 67 回千葉県母親大会 in 安房 共催：第 31 回安房地域母親大会

11 月 9 日（日）9:50～15:30 南総文化ホール 大ホール 協力会員券 1000 円／学生無料

⇒ 予約券購入は NPO 事務局またはオンライン Peatix 申込（QR コード）▶



* 房州弁で憲法を！第 9 条 9:50～10:00

* 映画『赤い鯨と白い蛇』 10:00～11:45

せんぼんよしこ監督（安房南高校出身）が少女時代の戦争体験をふり返り、館山を舞台に撮影した平和映画。安房文化遺産フォーラムが製作協力。出演は香川京子・樹木希林・浅田美代子ら。

< 全体会 > 12:45～15:30

* オープニングライブ：美地（みち）

* 地域報告：池田恵美子（NPO 法人安房文化遺産フォーラム共同代表）

「館山まるごと博物館～戦争遺跡と平和の文化」

* 記念講演：児玉三智子

（日本被爆者団体協議会事務局次長・千葉県原爆被爆者友愛会元会長）

「戦後・被爆 80 年 今 平和の願い新たに、そして次世代に」

* 話し合いのひろば * 発言のひろば * 大会アピール 等



明治期渡米のアワビ漁師 オンラインで語り合う

館 山

明治時代に南房総から米国西海岸に渡ったアワビ漁師について、米国の研究者とオンラインで語り合う催しが、館山市の「ギャラリー&カフェ船形倉庫」であった。

開催した同市のNPO法人安房文化遺産フォーラムによると、現在の南房総市出身の小谷源之助（1867～1930）と、弟の仲治郎（1872～



日米を結んだオンラインの画像

1943)をリーダーとするアワビ漁師たちは、1897(明治30)年、アワビが豊富に取れることに着目し、現地関係者の求めに応じ、米国カリフォルニア州モントレーに渡った。寒流の冷たい

1925(大正14)年に渡米した皇族の朝香宮夫妻が、現地で活躍する日本人向けに寄付を行い、小谷らによる事業収益を合わせて翌年、日系米国人市民同盟(JACL)モントレー会館が建設された。

現地では、会館の建設100年の節目を祝うさまざまなイベントが企画されている。今回のオンラインの語り合いは、この一環で行われた。

現地からは、小谷兄弟などを研究している歴史学者とJACL学芸員、館山市からは県水産試験場でアワビの種苗生産の研究に当たっていた大場俊雄さん(93)＝同市那古＝や、同NPO共同代表の池田恵美子さんら約10人が参加。小谷兄弟の足跡や実績を報告、関係者との思い出などを語り合った。

1925(大正14)年に渡米した皇族の朝香宮夫妻が、現地で活躍する日本人向けに寄付を行い、小谷らによる事業収益を合わせて翌年、日系米国人市民同盟(JACL)モントレー会館が建設された。

現地では、会館の建設100年の節目を祝うさまざまなイベントが企画されている。今回のオンラインの語り合いは、この一環で行われた。

現地からは、小谷兄弟などを研究している歴史学者とJACL学芸員、館山市からは県水産試験場でアワビの種苗生産の研究に当たっていた大場俊雄さん(93)＝同市那古＝や、同NPO共同代表の池田恵美子さんら約10人が参加。小谷兄弟の足跡や実績を報告、関係者との思い出などを語り合った。

1925(大正14)年に渡米した皇族の朝香宮夫妻が、現地で活躍する日本人向けに寄付を行い、小谷らによる事業収益を合わせて翌年、日系米国人市民同盟(JACL)モントレー会館が建設された。

現地では、会館の建設100年の節目を祝うさまざまなイベントが企画されている。今回のオンラインの語り合いは、この一環で行われた。

現地からは、小谷兄弟などを研究している歴史学者とJACL学芸員、館山市からは県水産試験場でアワビの種苗生産の研究に当たっていた大場俊雄さん(93)＝同市那古＝や、同NPO共同代表の池田恵美子さんら約10人が参加。小谷兄弟の足跡や実績を報告、関係者との思い出などを語り合った。

1925(大正14)年に渡米した皇族の朝香宮夫妻が、現地で活躍する日本人向けに寄付を行い、小谷らによる事業収益を合わせて翌年、日系米国人市民同盟(JACL)モントレー会館が建設された。

現地では、会館の建設100年の節目を祝うさまざまなイベントが企画されている。今回のオンラインの語り合いは、この一環で行われた。

現地からは、小谷兄弟などを研究している歴史学者とJACL学芸員、館山市からは県水産試験場でアワビの種苗生産の研究に当たっていた大場俊雄さん(93)＝同市那古＝や、同NPO共同代表の池田恵美子さんら約10人が参加。小谷兄弟の足跡や実績を報告、関係者との思い出などを語り合った。

1925(大正14)年に渡米した皇族の朝香宮夫妻が、現地で活躍する日本人向けに寄付を行い、小谷らによる事業収益を合わせて翌年、日系米国人市民同盟(JACL)モントレー会館が建設された。

現地では、会館の建設100年の節目を祝うさまざまなイベントが企画されている。今回のオンラインの語り合いは、この一環で行われた。

現地からは、小谷兄弟などを研究している歴史学者とJACL学芸員、館山市からは県水産試験場でアワビの種苗生産の研究に当たっていた大場俊雄さん(93)＝同市那古＝や、同NPO共同代表の池田恵美子さんら約10人が参加。小谷兄弟の足跡や実績を報告、関係者との思い出などを語り合った。

1925(大正14)年に渡米した皇族の朝香宮夫妻が、現地で活躍する日本人向けに寄付を行い、小谷らによる事業収益を合わせて翌年、日系米国人市民同盟(JACL)モントレー会館が建設された。

現地では、会館の建設100年の節目を祝うさまざまなイベントが企画されている。今回のオンラインの語り合いは、この一環で行われた。

現地からは、小谷兄弟などを研究している歴史学者とJACL学芸員、館山市からは県水産試験場でアワビの種苗生産の研究に当たっていた大場俊雄さん(93)＝同市那古＝や、同NPO共同代表の池田恵美子さんら約10人が参加。小谷兄弟の足跡や実績を報告、関係者との思い出などを語り合った。

房日新聞 2025. 8. 1. 付

オンライン対談の動画はこちらから見られます。▶



<米 国>

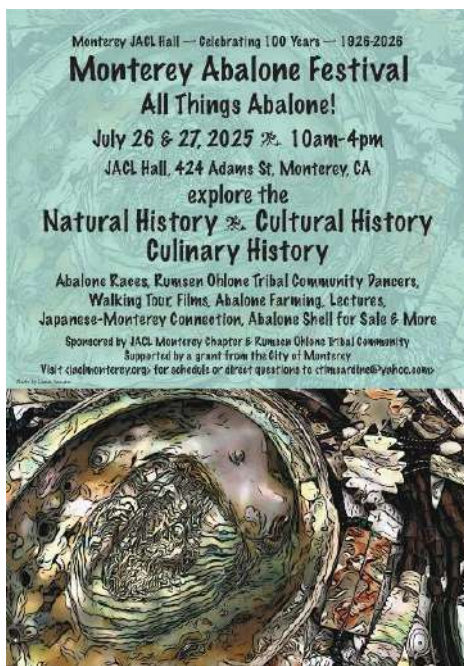
- ・サンディ・ライドン (歴史学者・元カプリオ大学名誉教授)
- ・ティム・トマス (JACL 学芸員)

<日 本>

- ・池田恵美子 (安房文化遺産フォーラム)
- ・溝口かおり (英会話クラブサビーネ)
- ・大場俊雄 (水産学者)

この中で、歴史学者のサンディ・ライドンは「日本とモントレーのつながりは、これからも続いていくと確信しています」と話していた。(斎藤大甫)

1905年頃、モントレー器械潜水によるアワビ漁



<令和7年度文化庁 Innovate Museum 事業>

◆ 和歌山移民研究を軸とした国際交流事業実行委員会の取組み

和歌山県立近代美術館が核となる「広域地域史の再構築を通じたミュージアム機能強化」に協働し、太地町教育委員会／和歌山大学紀州経済史文化史研究所／JICA 横浜海外移住資料館／NPO 法人安房文化遺産フォーラム／全米日系人博物館 が共同調査をととして、広域ネットワーク構築を図ります。

- <3つの課題> ①人口減少が進む地域の歴史継承と地域の文化や博物館活動を支える担い手の不足。
②行政区枠にコミュニティを限定することによる、地域の文化資源としての移民史の見落とし。
③戦前戦中に偏りがちな近代の移民史についての時代・地域範囲の見直しと問い直し。

⇒ 和歌山県は移民県としての歴史調査が進んでいます。当 NPO では明治期に安房からカリフォルニア州モンレー湾域に渡り、アワビ事業に成功した漁師たちの歴史をひもとき、在米の子孫や歴史学者らと交流を続けています。こうしたエコミュージアム活動が高く評価され、愛沢伸雄代表が実行委員として【和歌山移民研究を軸とした国際交流事業実行委員会】に参画することになりました。国内外の広域にわたる移民史、水産史、美術史など異なる分野を専門とするミュージアムと市民活動が連携し、地域史の再構築を図るとともに、複眼的な視点により地域資源を磨き上げ、連携ミュージアムの機能強化を目指すプロジェクトです。

- <参加運営委員> 和歌山県立近代美術館：奥村一郎（教育普及課長）、青木加苗（主任学芸員）
太地町教育委員会：櫻井敬人（歴史資料室学芸員）
NPO 法人安房文化遺産フォーラム：池田恵美子（共同代表）、山口正明（理事）
全米日系人博物館（JANM）：クリステン・ハヤシ、エバン・コダニ（小谷源之助の曾孫）

【事業1】＊国内調査ツアー 8/31（日）～9/6（土） 館山市/南房総市～太地町～和歌山市

房総アワビ移民の故郷の根本・千田（南房総市）、渚の博物館や戦争遺跡（館山市）などをめぐり、後半は和歌山県を訪問し、共通する歴史などを学び合います。

◎館山ではNPO 会員や関係者との懇談会を開催 <要予約>
9/3（水）10:15～12:00 参加費 1,000 円（茶菓子付）
会場：ギャラリー&カフェ船形倉庫（館山市船形 1422-6）

【事業2】＊アメリカ調査ツアー 10/1（水）～10/8（水） カリフォルニア州モンレー～ロサンゼルス

房総アワビ移民の拠点となったモンレー、ポイントロボスなどゆかりの地をめぐり、日系米国人市民同盟（JACL）モンレー会館で歴史家や日系子孫らと交流を図ります。

【事業3】＊報告会「移民がつなぐ太平洋まると博物館 ～カリフォルニアと房州と紀州」

シンポジウム 2026/2/11（祝） 南総文化ホール 小ホール
資料パネル展示 2/5（木）～18（水） //

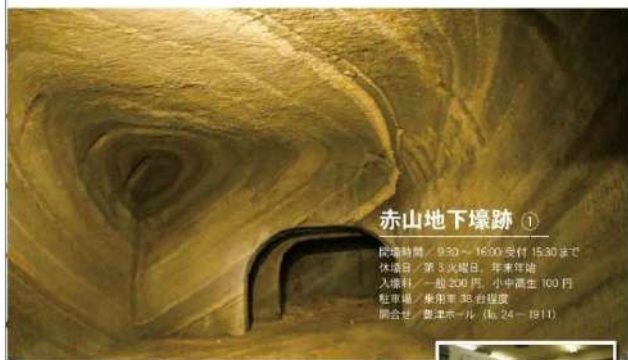




館山のことなら私たちにおまかせ
地域ガイドを担う2団体

守り継がれる 戦争遺跡を巡る

今年は昭和20年に終戦を迎えた戦争から80年です。この夏は、市内に今も守り継がれている戦争遺跡を巡り、平和に想いを馳せてみませんか。



赤山地下壕跡 ①

開場時間／9:30～16:00 受付 15:30まで
休場日／第3火曜日、年末年始
入場料／一般200円、小中学生100円
駐車場／無料 35台程度
問合せ／豊津ホール (TEL 24-1911)

赤山地下壕跡は合計した長さが約1.6km（公開しているのは約250m）と、全国的に見ても大きな壕です。館山海軍航空隊の防空壕で、治療施設や発電所が備わっていました。希聖して掘られたため内部に土のほのほが残っています。終戦まで掘り続けられた地下壕です。

房総半島南部の丘陵は「新生代第三紀」という年代の凝灰岩質の砂岩や泥岩などやわらかい地層が重なり合い形成されています。公開されている通路の中には断崖を観察できる箇所もあります。

壕跡は館山海軍航空隊や海軍航空隊の航空機の格納庫です。天然の岩盤を利用し、分厚いコンクリートでつくられました。60個の壕体場がつくられたとされますが、現在は宮城と書かれた2箇所のみが残っています。私有地のため、マナーを守って見学してください。



豊津ホール内に設置された展示室。→
壕体場（私有地）↓



◀ 広報誌は NPO ホームページで大きく見られます。

房日新聞
2025.8.9.付

館山市が管理、一般公開し、NPOなどによるガイドも行われた。

館山市が管理、一般公開し、NPOなどによるガイドも行われた。

歴史教育に関わる教員、一般市民などで組織する「歴史教育者協議会」のメンバーが4日、館山市を訪ね、「NPO法人安房文化遺産フォーラム」の案内で市内の戦跡、文化財などを巡り、多様な文化遺産を歴史教育やまちづくりに生かす取り組みを視察した。

2、3日に東京都内で開催された、歴史教育者協議会東京大会の現地見学会として企画された館山ツアーで、

「館山まるごと博物館」の戦跡と東アジア交流を学ぶ」と題したツアーで、一行は赤山地下壕（ごう）跡、掩体（えんたい）壕といった戦跡、かたは婦人の村にある慰安婦証言を受けて建てられた「江戸時代初期の建立でハングル旧字体などの4カ国の文字が刻まれた大蔵院の「四面石塔」などを巡った。

館山市が管理、一般公開し、NPOなどによるガイドも行われた。

北海道から沖縄県まで、実際には同NPOメンバーの案内を受けながら、壕内を見学。地下壕の軍事的な役割などについての解説に耳を傾けながら、カメラで写真撮影するなど熱心に視察をしていた。ツアーに参加した同大会委員長の平井敦子さん（63）は「市民と行政の連携によってこの戦跡を多くの人に伝えようという取り組みがされていて、素晴らしい。家族連れでも気軽に見学に訪れることができ、貴重な場」と感想を話していた。

“館山”のエキスパート ガイドを行う団体の皆さん

NPO法人安房文化遺産フォーラム
また旅倶楽部

館山市の歴史を中心にガイドを行っている団体を2つ紹介します。
豊かな知識と軽快な話術で、史跡の紹介以外にもその背景やクソとなるポイントを織り交ぜながら案内してもらえ、普段通っている館山でも新たな発見と出会うかもしれません。

また旅倶楽部

代表・中屋勝義



“また旅に来たくなる”ガイドをモットーに、観光ガイドや学生向け平和学習なども実施しています。

手書きのイラストマップ 掲載公式ホームページ

倶楽部の絵画師でもある中屋勝義代表や庄司副代表が描いた温かみのあるイラストマップをガイドツアー参加者にプレゼントしています。

実は戦争と深いかわりも ウミホタル観覧会

実施日／8/23(土)、30(土)
時間／18:15受付～20:00終了予定
場所／“港の駅”たてやま
参加料／1組3,000円1組5名まで
※詳細はホームページでご確認ください。

ガイドツアーの申込み・
問合せ／TEL 28-5086

NPO法人 安房文化遺産フォーラム

共同代表・愛沢伸雄、池田恵美子



全国各地の会員とともに地域の歴史について学び、“もっと知りたくなる”ガイドを心がけています。

公式ホームページ 「館山まるごと博物館」

地域全体をまるごと歴史のない博物館としてとらえて、形として残る文化・自然遺産だけでなく、先人たちが築いた知識や歴史そのものを語り継いでいます。

赤山地下壕跡 無料ガイドサービス

実施日／毎月第1日曜日の午前
所要時間／約30分～1時間
対象／個人・家族・小グループ
※予約不要 豊津ホールにて受付。
※入場料が別途かかります。

ガイドツアーの申込み・
問合せ／TEL 22-8271

◆ 当面のスタディツアーガイドスケジュール

- 9/24(水) 16:00～17:30 平和フォーラム80名：講演
- 25(木) 9:30～12:30 “ ” 60名：フィールドワーク
- 9/26(金) 11:00～16:00 毎日新聞旅行社 20名
- NPO 法人東アジア相互理解促進フォーラム
- 10/11～12(土日) 帝京大学教育学部 生島美和ゼミ 18名
- 10/28(火) 米国・慰安婦正義連盟 1名：(調査)

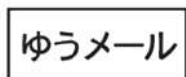
文化遺産生かす取り組み視察

歴史教育者ら NPO案内で戦跡など巡る

館山



赤山地下壕跡を見学する参加者ら＝館山



NPO法人安房文化遺産フォーラム

〒294-0045 千葉県館山市北条 1721-1

TEL&FAX : 0470-22-8271

残暑お見舞い申し上げます。記録的な猛暑と異常気象が続きますが、皆様お元気でしょうか。

戦後 80 年を迎える本年は、会報でもお知らせしていますように、米占領軍の館山上陸と「直接軍政」に関する調査を続ける一方で、和歌山県立近代美術館の文化庁事業に協働し日米調査交流を展開いたします。

また 8 月 6 日には、NHK『みみより！解説』という番組で、「どう残す？身近な戦争遺跡」という特集が放送されました。全国の事例のなかでも、館山は戦争遺跡を地域全体の文化遺産の中に位置づける取り組みとして、NPO の「館山まるごと博物館」と館山市文化財保存活用地域計画が紹介されました。NHK プラスで見逃し配信と、オンライン記事を読むことができます。



旧安房南高校木造校舎の見学会中止が続いていますが、千葉県文化財保存活用大綱には＜県が所有する文化財である千葉県立安房南高等学校旧第一校舎については公開・活用を推進します＞と明記されています。外壁の塗装や必要な修繕など適切な保全をおこなったうえで、見学会が早期に再開されることと、国指定文化財へ格上げし学校博物館として活用されることを願い、千葉県教育委員会に要望をしています。引き続き、オンライン署名と用紙署名をおこなっていますので、ご協力をお願いいたします。 <https://www.change.org/awaminami-kousya>



◎木造校舎の環境整備として草刈りを実施します。お手伝いをお願いします。

10/12 (日) 9:00～

<雨天は翌日順延>